

現状分析についてのアンケート結果から整理した

「ゼロカーボンシティさの」の 実現に関するキーワード

(ロードマップ策定に反映すべき5本の柱)

1 エネルギーの地産地消

- 再エネ設備の導入、再エネ電力利用、地産地消、太陽光、バイオマス、ほか

2 脱炭素まちづくり推進

- 脱クルマ社会、公共交通、EV 転換、レジリエンス強化、市役所率先、ほか

3 循環型社会の形成

- 3R 運動推進 (リデュース・リユース・リサイクル)、ごみ減量、食品ロス削減、ほか

4 森林の再生・活用

- Jクレジット、温室効果ガス吸収、有効活用、森林保全、山地災害対策、ほか

5 脱炭素意識の向上

- 環境負荷の少ない日常生活、分野連携・地域住民連携、行動変容、ほか

【参考：アンケート結果による意見】

懇談会委員の意見

- **自然**との共生
- 地域振興との両立
- 市民の**意識の向上**
- 国・県・市からの事業者への支援
- **自家使用**をメインとした**太陽光発電設備の増大**
- 工業用等各分野への**環境負荷削減**への協力
- **CO2 吸収分のクレジット化**
- **森林資源**と**太陽エネルギー**の最大活用
- **再生可能エネルギー**の生成拡大・利用**拡大**
- **循環型社会**の形成（**森林資源有効活用・ごみ減量・食品ロス削減の強化**など）
- 異常気象 **山地災害対策**
- さのまるクリーン&グリーン作戦（クリーンで環境にやさしい（グリーン）をかけたもの）
- **再生可能エネルギー**の利用拡大
- **循環型社会**の形成
- 災害時の**レジリエンス強化**と**脱炭素なまちづくり**
- **再生可能エネルギー**拡大に合わせた「にぎわい」の創出（地域活性化）
- 建物を活用した**再生可能エネルギーの導入促進**
- エネルギーの**地産地消**
- ガソリン車から **EV 等への転換**
- **レジリエンスの強化**
- 市内森林の **Jクレジット**への取組
- **ライフサイクル**の転換 など

庁内各課の意見

- **再生可能エネルギー**の設備開発、利用拡大
- **3R 運動の推進**（リデュース、リユース、リサイクル）と**ごみの適正分別**の徹底
- **循環型社会**の形成（**森林資源**の有効活用）
- 全公用車の**ハイブリッド、電気自動車化**
- **公共施設が率先**して ZEH 化を図る
- **森林整備**
- **循環型社会**の形成
- 太陽光発電などの**再生可能エネルギー**を活用したエネルギーの**地産地消**
- **森林の再生・活用**
- なるべく **ごみを排出しない社会**の仕組みづくり

- 通勤や通学では出来るだけ**公共交通機関**を利用（マイカーに頼らない社会を目指す）
- 今後の担い手である**林業新規就労者**の確保（人材育成を最優先）
- 山地特有の**再生エネルギー**利用（木質バイオマス発電・小規模水力発電など）
- **エネルギーの創出**
- **温室効果ガスの吸収**
- 受益者負担の原則
- **脱クルマ社会**
- 景観に配慮した**再生可能エネルギー**の普及
- 日照時間日本一、**太陽熱**利用拡大
- 林業拡大で**二酸化炭素削減**
- **自動車依存**からの転換
- **公共交通**の機能強化
- 地球にやさしい**生活**へ、市民一人一人の**意識の改革**
- **電気自動車**・充電設備不足への対応
- **再生可能エネルギー**の利用拡大による**電力の地産地消**
- **循環型社会**の形成（森林資源有効活用・3R推進強化など）
- **環境負荷の少ない生活や事業活動**への転換
- **分野連携**・**地域住民連携**による創エネ促進
- 佐野市の独自性の発見・発揮
- 地域資源の発掘と有効活用
- 気候変動に対応した新規ビジネスの育成・創出
- 暑いまち
- 市役所が市民や事業者を**率先垂範**
- 脱炭素**意識の向上**・**浸透**と**行動変容**
- **環境負荷の少ない日常生活や事業活動**への転換
- **森林の保全**と**再生可能エネルギー**への活用